

定期報告に該当しない旨の届出書

令和 年 月 日

習志野市長 宛て

届出者 住 所
氏 名
電話番号

印

(法人にあつては、主たる事務所の所在地及び名称並びに代表者の氏名)

下記の建築物の状況について届出します。

(※ 該当する番号とカタカナを○で囲む)

記

建築物の名称：

所在地：

1. 建築物がない

- イ 所有又は管理したことがない
ロ 他の通知と重複している(整理番号)
ハ 除却済(平成 年 月ごろ)
ニ 工事中止
ホ 未着工(着工予定平成 年 月ごろ)
ヘ 工事中(完成予定平成 年 月ごろ)

2. 現在は所有又は管理していない

- イ 転売先
ロ 所有者等
ハ 管理会社
- 名称
連絡先
- 名称
連絡先

3. 用途・規模が対象外
建築物概要

- 用途： 構造階数： 造 階建て
各階床面積： 階 m^2 、 階 m^2 、 階 m^2
階 m^2 、 階 m^2 、 階 m^2
建築設備の有無(機械排煙設備・予備電源別置型非常用照明)： 有 ・ 無
防火設備の有無(防火設備の定期検査のみ対象の場合)： 有 ・ 無

4. 現在使用していない

(転売予定、除却予定、改修予定、その他)

5. 第一回目の報告免除

検査済証交付年月日が平成 年 月 日 第 号

検査済証交付機関名

定期報告に該当しない旨の届出書の記入方法について

この届出書は、定期報告を要する特定建築物に“該当しない場合”に提出していただく書類となります。その際に1～5の該当箇所に記入または○をお願いします。

1. 建築物がない

1の欄は、「もう建物は無くなっている」、「まだ完成していない」等の場合に記入します。また、通知のあった建物を所有していたことは無い等の場合も記入してください。

2. 所有又は管理していない

2の欄は、以前は所有又は管理していたが、現在は他の方に権利が移っている場合に記入します。この場合、転売先となった相手方の氏名、連絡先を記入してください。

3. 用途・規模が対象外

3の欄は、通知された建物がいずれにも該当していない場合に記入します。この場合、建物の用途（店舗、ホテル等）、建物の構造・階数、各階の面積を記入してください。

（例：該当しない旨の理由（「屋外階段の無い共同住宅（3階建て）だが、3階の床面積が300平方メートルを超えていない」「現在は違う用途（○○○）として使用中」等）も分かりましたら記入をお願いします）

4. 現在使用していない

4の欄は、現在はその建物を使用していないといった場合に記入してください。

なお、使用状況等により、再度定期報告が必要となる事が考えられますので、繰り返しお尋ねする場合があります。予め御了承ください。

5. 第一回目の報告免除

5の欄は、今回の報告の時期の前に完了検査を受け、検査済証の交付を受けた建物の場合に記入します（新築の検査済証交付後、第1回目の報告は免除されます）。この場合、検査済証の交付年月日、合格番号及び交付者（習志野市又は指定確認検査機関名）を記入してください。

※ 建築物の名称及び所在地は必ず記入をお願いします。